



南陽小学校だより 「いい顔 いい声 いい心」 NO12

発行：令和3年11月16日（火） 文責：校長 野田 浩司

南陽小学校 HP：<http://www.nagasaki-city.ed.jp/nanyou-e/>



○文化の秋

新型コロナウイルス感染症の状況も2学期当初からするとずいぶん落ち着き、子供たちの学校生活も少しずつ通常モードになってきていることを嬉しく思っています。引き続き、感染対策の徹底を図りながら、安心・安全を最優先に学校を前に進めてまいりたいと思っております。

さて、芸術の秋、文化の秋と言います。文化は英語で culture。この語源は「耕す」を意味するラテン語からきてるとされます。最近、学校のあちこちから、歌声や鍵盤ハーモニカ、リコーダーといった器楽の音が聞こえてきて、南陽小の子供たちは音楽で心を耕しながら、日々を豊かに暮らしているんだなと感じています。今日も全校で音楽集会を行いました。先日は文化庁の芸術家派遣事業によるバイオリンとピアノによるコンサートが行われました。ふるさと祭りは中止となりましたが、機会をとらえて子供たちの文化的な取り組みの成果を保護者の皆様や地域の皆様にお見せできるよう、模索をしていきたいと思っています。

校長のつぶやき NO114 令和3年11月2日より

コロナ禍も少し落ち着き、みなさん芸術文化にふれたいという思いが強くなっているのではないのでしょうか。今日はそんな子供たちの感性を高めるべく、お二人の演奏家に御来校いただき、バイオリンとピアノによる演奏会を全校で鑑賞しました。

バイオリン：瀬崎明日香さん（東京芸大主席卒業、パリ国立高等音楽院大学院修了）とピアノ：安田梨香さん（桐朋学園演奏学科卒業、フランスストラスブルク国立音楽院留学）による演奏は、圧巻の内容でした。二人で演奏しているとは思えないほどの迫力だったり、繊細で消え入りそうな音が豊かに響いていたり、生でしか味わえない感動を子供たちは味わっていました。ぜひ子供たちに感想を聞いてほしいと思います。

教科書にも載っているサンサーンスの白鳥や、情熱的なリベルタンゴ、カルメンファンタジーなどバリエーションに富む選曲で、アンコールでは本校の田中カズ先生もチェロで演奏に参加していました。やっぱり、生の音楽に触れることは大切なことだなと感じました。



（裏面へ続く）

☆市美展や読書感想文コンクールでも多くの賞をいただきました。

様々な場面で子供たちが活躍していることを大変うれしく思います。その一端として市美展入賞者と青少年読書感想文コンクール受賞者となった本校児童を紹介します。

＜第70回長崎市民美術展（ジュニアの部）＞

絵画の部

☆奨励賞

☆入選

書写の部

☆奨励賞

☆入選

＜第67回 青少年読書感想文コンクール＞

☆小学校中学年の部（自由部門）最優秀賞

（2年）：「平和のバトンをたくします」

※ホームページ版は名前を載せていません。

受賞された皆さん、おめでとうございます。この他にも、スポーツや音楽などで力を発揮されている皆さんがいると思います。南陽小の子供たちのがんばりをこれからも学校、家庭、地域でしっかり支えていけたらと思っています。

※ 交通指導員のSさんも、市美展 南画の部で入選されました。タイトルは「夏山雲未開」だそうです。

※校長からのお知らせについても、ホームページ版では載せていません。